

1 事業者の名称、代表者の氏名及び所在地

名称 日本砕石工業株式会社

代表者 代表取締役 志賀 昂

所在地 東京都千代田区飯田橋二丁目2番1号

2 対象事業の名称及び種類

名称 日本砕石工業株式会社 檜原工場拡張事業

種類 土石の採取

3 対象事業の内容の概要

日本砕石工業株式会社は、東京都西多摩郡檜原村本宿において昭和38年から砕石事業に携わってきたが、既事業区域での岩石採取の認可期間は平成27年までとなっており、採掘区域の残砒量もわずかとなってきている。

しかし、事業区域の南側に、現在採取している原石と同等の品質の砂岩帯の賦存が確認され、それらの土地の取得ができたこともあり、平成23年頃より新たに30年間の採掘区域を拡張設定して、砕石の生産を継続する事業計画を立案した（表1参照）。

表1 対象事業の内容の概要

項目	内容
事業区域の所在地	東京都西多摩郡檜原村本宿
事業区域面積	1,137,862m <sup>2</sup>
既事業区域	607,757m <sup>2</sup>
拡張区域	530,105m <sup>2</sup>
年間採取量	762,000 t
採取期間	30年間
30年間の総採取岩石	22,860,000 t
採掘方法	階段採掘法
生産品目	砕石・砕砂（硬質砂岩）
放流河川名	南秋川（秋川水系）

#### 4 環境影響評価の項目

環境影響評価を行う項目は、図1に示す手順に従い対象事業の事業計画から環境影響要因を抽出した上で、地域の概況において把握した環境の地域特性を勘案し、表2のとおり選定した。

選定した項目は、大気汚染、騒音・振動、水質汚濁、地形・地質、水循環、生物・生態系、景観、自然との触れ合い活動の場、廃棄物および温室効果ガスの計10項目である。

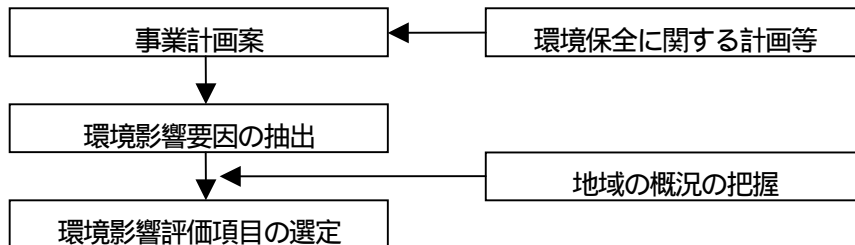


図1 環境影響評価項目の選定手順

表2 選定した環境影響評価項目およびその理由

環境影響評価の項目	区分	事業の実施中						事業の完了後
		立木伐採	表土除去	採掘	破碎・選別	保管	出荷	緑化
要因		環境影響						
予測する事項								
大気汚染	採掘、運搬、破碎・選別及び保管等に伴い発生する粉じんの变化の程度及び出荷ダンプトラック等の走行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の変化の程度							
悪臭								
騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>採掘に伴い発生する発破騒音・振動レベル</li> <li>採掘に伴い発生する重機騒音・振動レベル</li> <li>破碎・選別時に発生する工場騒音・振動レベル</li> <li>出荷ダンプトラックの走行により発生する道路交通騒音・振動レベル</li> </ul>							
水質汚濁	降雨により発生する土砂及び濁水による下流河川の水質（浮遊物質量）への影響							
土壌汚染								
地盤								
地形・地質	斜面の安定性の変化の程度							
水循環	地表面流出水の状況及び河川への流出状況の変化及びその程度							
生物・生態系	生物	植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度						
		動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度						
		水生生物相の変化の内容及びその程度						
		生息（育）環境の変化の内容及びその程度						
	緑の量の変化の内容及びその程度							
生態系	陸域生態系の変化の内容及びその程度							
日影								
電波障害								
風環境								
景観	地域景観の特性、代表的な眺望点からの眺望の変化の程度							
史跡・文化財								
自然との触れ合い活動の場								
廃棄物	立木伐採等による廃棄物の排出量及び再利用計画等による排出の抑制の程度							
温室効果ガス	温室効果ガスの排出量、エネルギー使用量及びそれらの削減の程度、森林吸収量の削減の程度							